

生態園 NEWS Letter

No167

2018/3

NPO 法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局

Tel/Fax : 045 - 945 - 0816

E-mail seitaen@ybb.ne.jp

URL <http://www.geocities.jp/seitaenjimukyoku/index.htm>



オナガ(14年1月)



早春の花 ウグイスカグラ(3/5)

フキ(ふきのとう) 3/5)

オオイヌノフグリ(3/7)

スギナ(つくし) 3/7)



ハラビロカマキリ: 卵のう(2/15)

シンジュサン(蛾): さなぎ(2/15)

カブトムシ: 幼虫(2/15)

ヒメコバネナガカメムシ: 成虫(2/5)

〇〇〇水辺のいきもの〇〇〇
ヤマトクロスジヘビトンボ(ヘビトンボ科)
 北海道を除く全国のゆるやかな流れに
 生息し、他の水生昆虫を捕食する。成熟
 すると上陸し、土の中でさなぎになる。
 かむ力が強いので要注意。生態園では
 田んぼ東側水路などに生息する。



幼虫と成虫

冬、昆虫たちは一体どこでどんな姿で越冬する
 のでしょうか。種によって異なりますが、卵、さな
 ぎ、幼虫、成虫の姿で、木の枝や、樹皮のすき間、
 腐葉土の中、朽木の中、落ち葉の中等さまざま
 な場所で厳しい冬をたくましく乗り切っています。

オナガ: 岡村勇 昆虫: 山村靖男

今月の虫

春の蝶 ツマキチョウ

- 目/科: チョウ目・シロチョウ科
- 大きさ: (前ばねの長さ) 20~30mm
- 時 期: 3~5月

年1回、春だけに現れる白っぽいチョウで夏から冬の長い期
 間をさなぎで過ごし、翌春に羽化します。幼虫の食草は、アブ
 ラナ科のタネツケバナやナズナなどで花や果実を食べます。

お馴染みのモンシロチョウよりやや小さいです。オスは前ば
 ねの先端がオレンジ色なので、よく見れば飛んでいてもわかり
 ます。また、飛び方もモンシロチョウは“ひらひら”と飛ぶの
 に対して、ツマキチョウは直線的な飛び方なので見慣れると遠
 くからも判別できるようになります。

後ろばねの裏は網目模様になっていて、周囲に紛れてしま
 います。

山村靖男

右...オス
 左...メス
 後ろばね



3月にみられるおもな花 アオイミレ、イヌコリヤナギ、ウグイスカグラ、オオイヌノフグリ、キブシ、シュラン、タネツケバナ、フキ、モミジイチゴ